



2026年1月5日

各 位

会 社 名 日本農薬株式会社  
代表者名 代表取締役社長 岩田 浩幸  
(コード : 4997、 東証プライム)  
問合せ先 管理本部総務・法務部長 吉岡 正樹  
(TEL. 0570-09-1177)

### 当社連結子会社に対する訴訟の和解に関するお知らせ

当社の連結子会社である Sipcam Nichino Brasil S.A. (以下、「SNB」という。) は、FMC QUÍMICA DO BRASIL LTDA. (以下、「FMC」という。) から、受託し包装作業を行っていた製品が重武装による強盗により持ち去られた事件につき、損害賠償請求訴訟の提起を受けておりましたが、2025年12月31日、当社取締役会にて、SNB が FMCとの間で和解に合意することを決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 訴訟の提起から和解に至るまでの経緯

SNBにおいて2023年7月26日に重武装による強盗事件が発生し、FMCから受託し包装作業を行っていた製品が持ち去られました。これに対し、2023年10月10日付でFMCから45百万レアルの損害賠償請求訴訟が提起され、2025年5月14日付で45百万レアルおよびこれに対する利息ならびに訴訟費用の支払いを命じる判決が言い渡されました。これに対し、2025年6月24日付「当社連結子会社に対する訴訟の判決および控訴に関するお知らせ」に記載のとおり、当社グループとしては、契約上の責任範囲に関する見解に相違があると考え、当該判決に対し控訴しておりましたが、和解条件を総合的に勘案した結果、和解による解決が合理的であると判断し、2025年12月31日の当社取締役会においてSNB が FMCとの間で和解に合意することについて決定いたしました。本和解により、当該訴訟は全て終結する見通しです。

##### 2. 訴訟を提起した者の概要

名称：FMC QUÍMICA DO BRASIL LTDA.

所在地：Avenida Doutor José Bonifácio Coutinho Nogueira, No. 150, Commercial Complexes 103,105,107, 108 and 109, Jardim Madalena District, in the municipality of Campinas, State of São Paulo, CEP 13091-611

代表者：CEO Renato de Almeida Guimaraes

##### 3. 本和解の金額

総額 7.2 百万米ドル（約 39.6 百万レアル（1 米ドル 5.5 レアル換算）、約 1,116 百万円（1 米ドル 155 円換算））  
本和解は、今後、SNB と FMC の共同でブラジルサンパウロ州高等裁判所に提出され、その承認手続を経て、正式に確定します。

##### 4. 今後の見通し

本和解に伴い、2026年3月期決算において、上記金額を特別損失として計上いたしますが、親会社株主に帰属する当社純利益に与える影響は、SNBへの当社出資比率(50%)を反映し、上記金額の半分となります。なお、2025年11月10日に公表いたしました2026年3月期通期連結業績予想に変更はありません。

以 上